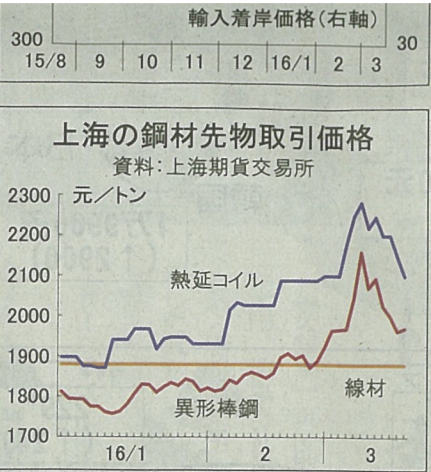


価格が急落

冷やす可能性



国内外からの鉄鉱供給は依然多く、需給が短期に引き締まる配はない。16日の全国人民代表大会閉幕で市場が冷静さを取り戻し、鉄鉱石、鋼材ともに「全人代のご祝儀相場」と言われるほど過熱した取引所の熱延・異形鋼価格が9日に下降転じ、下がり続けて

用電気炉酸化スラグ骨材

から販売開始

長は18日、4月かコンクリート用電気炉酸化スラグ骨材の販売を開始すると発表し

住まいの屋根換気壁通気研究会理事長
ハウゼコ社長

神戸 睦史氏

産業春秋

題字 今井 敬氏

ここ数年の、日本の住宅の技術革新には、特筆すべき3つのものがある。まず一つ目に、かつて日本の住宅は価格が高いと言われてきたが、現在の日本のローコスト住宅のコストパフォーマンスは驚異的だ。

アメリカのような広い国土をもつ国では、大ロット搬入や大型重機の作業もOKのような場合が多く、それらと比較するのはナンセンスではあるが、それでもそのコスト差は縮まってきた。それを可能にした大きな要因は、プレカット技術の高度化だ。

いまや、誰もがハウスメーカーに一夜にしてなれる時代になっている。プレカット工場の技術が、日本の住宅コストの低減に大きな貢献をしているのだ。二つ目に、パッシブハウ

住宅外皮の通換気を究める



スといわれる高气密高断熱住宅の世界で、日本の住宅が世界のトップクラスになりつつあるということだ。中国や韓国よりも低かった日本の窓の性能が、ヨーロッパ基準に近づき、高性能窓が国内メーカー各社から上市されたことにより、一気に上がった。

もともと日本には、北方型住宅といわれる北海道で培われた高气密高断熱の技術があった。それに、欧米で確立されたパッシブハウスの技術を融合させて、独自の日本型パッシブハウスが確立されようとしている。

今回の話は、後者の話だ。今までは、外皮の熱的な話ばかりで、計算してきたのだが、今後はそれに加えて外装材や外装材の裏側にある通気層を通る気流のことが無視しては通れないだろう。

東日本大震災以来、一次消費エネルギーを削減することが、資源のない国日本の最優先事項となった。そのことが、日本の住宅の省エネ化の大きな推進力になっている。

そして、三つ目の技術革新が、住宅の外皮の通気換気技術の進歩だ。住宅の外皮とは、主に外壁や屋根に加えて、天井・床・窓等の外気との熱的境界のことを指す場合と、外壁・屋根等の雨仕舞いを

する部位を指す場合の2つがある。この外皮の通気・換気のロジックを完成させることが私の夢だ。世の中では、100年住宅200年住宅と言われているが、実は、高气密高断熱住宅が普及することにより、皮肉にも2-3年で腐ってしまいう住宅が増えていく。そういったことが起こらないようなシステムを、この研究会で作りたいと思うている。

国の研究機関・大学・設計士・工務店・ハウスメーカー・各分野の研究熱心なメンバー等が約80社集まり、毎月勉強会を開き、会員同士で切磋琢磨している。

この研究会で立ち上げた。外皮の通気・換気・雨仕舞いを研究する日本で唯一の団体だ。

大阪金物団地協同組合(大阪府東大阪市)は、7月末日の完成予定

組合事務所 リニューアル

大阪金物団地協同組合(大阪府東大阪市)は、7月末日の完成予定

で、組合所有の本館事務棟・別館棟の補強・改修に着工した。投資額は約1億3000万円。耐震性を補強するため、本館は補強、別館は全面的な建て替

大阪金物団地協同組合(大阪府東大阪市)は、7月末日の完成予定

技術講演会と 研究発表会開催

日本鋳鋼協会(会長 川田摩智・新日鉄住金常務取締役)は18日、都内で鋳鋼品の製造に関する技術講演会並びに研究発表会を開催し、会員企業の技術系

製病情報発に過去最高... 軽仮設リース... 軽仮設リース... 関東支部(支部 藤宏章・鈴木社 18日、東京都千の東海大学校友定例の製病情報を開催し、約1の会員が出席し、冒頭あいさつにた斎藤支部長は、前の同発表会の日本大震災が起ることに触れ「防は日に日に薄れてしまうものだが、発表会をきっかけに識を新たにしていきたい」とした。「150人の出席おそろく過去最親会も含めて良を過ごしていた